

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 若者就労支援×遊休不動産活用による高梁川流域活性化事業
グループ名 : 遊休不動産を活用した若者就労支援グループ

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と遊休不動産を活用した若者就労支援グループ（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

（1）長期アウトカム（長期の成果）

目標	NPO 法人吉備たくみ会の行ってきた困難を抱える若者たちへの支援と、総社商店街筋の古民家を活用する会の空き家等の利活用事業を結びつけることにより、就業機会を提供し、複数の生業を持つ地域のまちづくり人材として経済的な自立につなげていく。また、高梁川流域の他の市町の団体とも協働することで、事業エリアを広げていく。
----	---

（2）短期アウトカム（令和4年度事業の成果）

目標	総社商店街や雪舟生誕地公園、その他遊休施設等でのイベント企画・運営や無人駅化した総社駅長室を活用したチャレンジショップでの商品企画及び販売を行い、就労体験の場として継続運営するための事業スキームを確立する。
指標	チャレンジショップ売上 現状：0円 ⇒ 目標：218,400円（7,800円/回×28日）、イベントショップ売上 現状：0円 ⇒ 目標：10,800円（3,600円/回×3回）

（3）アウトプット（令和4年度事業の直接の結果）

目標	空き家等の遊休不動産や無人駅等の遊休施設、行政が管理する公的施設などを活用したチャレンジショップやイベント等の企画・運営を通じて、総社市内の一般就労できていない若者に多様な就労機会を提供する。
指標	チャレンジショップ出店数 現状：0回 ⇒ 目標：28回 イベント出店回数 現状：0回 ⇒ 目標：3回

2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	総社市内の一般就労できていない若者が、地域貢献に携わる取組みや事業に積極的に関与していくことで、継続的な就労に至り、且つ複数の生業を持つ地域のまちづくり人材として経済的自立が来ている。また、遊休不動産等が中古住宅として以外に、店舗等として有効に利活用され、他の地域へも展開している。
----	---

(2) 短期アウトカム（令和4年度事業の成果）

目標	就職の失敗による自己肯定感の喪失状態を、総社市内の遊休不動産等を活用した地域貢献に携わる事業において就労経験を積むことにより、経済的自立の可能性とまちづくりに関わることでの自己肯定感の向上が感じられている状況を目指す。また、チャレンジショップの形態を改善し続け、事業終了時には運営方法を確立する。
指標	継続就労に至った人数 現状：0人 ⇒ 目標：6人 遊休不動産活用件数 現状：0件 ⇒ 目標：28件

(3) アウトプット（令和4年度事業の直接の結果）

目標	高梁川流域エリアの遊休施設や空き家等を、農産物や惣菜/弁当などの食品など流域で作られるものを販売するチャレンジショップとして運営することで、若者就労支援の場及びまちづくり人材育成の場として活用する。
指標	就労体験の延べ人数 現状：0人 ⇒ 目標：65人

令和 4年 6月17日

甲 倉敷市西中新田 640 番地
倉敷市
倉敷市長 伊 東 香 織



乙 倉敷市東町 4-31
遊休不動産を活用した若者就労支援グループ
特定非営利活動法人吉備たくみ会
理事長 内 田 和 雄

